金曜日の夜、とり天さんに行けばすれちがい通信ができますか？

※「とり天さん」とは…
弊社タップハウスから、つつつーと梅田方向に歩いていき、すぐの信号を越えて二、三軒のところにある焼鳥屋さんのこと。
この前食べたとり天さんの「とり天」が美味しかったこと。

2009年(平成21年)10月6日　火曜日　14版　経済　6

人群れる ドラクエ効果

DS新機能 無線でアイテム交換

町おこしに活用も

駅や家電量販店周辺に人だかりができ、各自携帯型ゲーム機ソフト「ドラゴンクエスト」の画面を一心不乱にのぞき込む―。各地で時折見かける珍現象の理由は、同じゲームをしている人とすれ違うことでゲームで使う珍しい道具などを無線で入手できる新機能だ。現実世界で集客力を町おこしに生かそうとする動きも出ている。（溝呂木佐季）

すれちがい通信を楽しむ＝9月、和歌山市のバナナエフエムスタジオ

金曜夕方の東京・秋葉原駅周辺。100人を超える人々が電器店前の一角にひしめく。スーツ姿の会社員、子連れの母親、リュックを背負った若者。一様に立ったまま携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS」の画面を見つめる。

人々の目的はスクウェア・エニックス（スクエニ）の人気ソフト「ドラクエIX」で採用された「すれちがい通信」だ。現実の世界で近くにいるゲーム機同士が無線で結ばれ、珍しい「武器」を手に入れるための地図などを交換できる。

2時間で100人と通信したという都内の大学3年生（21）は「これまでゲームは1週間でクリアして中古店に売っていたが、今回はなかなかやめられない」。自分でプレーするだけでは入手できない希少な地図が通信で手に入るため、子供から大人まで「はまってしまう」という。

スクエニによると、ドラクエIXの国内出荷本数は7月の発売以来400万本を突破。50万人分のデータを集計したところ、9月までに東京都で1489万回通信があった。ただ徳島県は3万回など地方ほど少ないという。

地方では、珍しい地図を持つ人が、ネット上に「○○駅で通信します」と書き込めば、多くの通信機会を逃すまいと人だかりができるといった具合だ。

こうした現象に目をつけ、地域おこしに活用する試みも現れた。和歌山市のコミュニティーラジオ局バナナエフエムは9月中旬、スタジオを「すれちがい通信」会場に。ラジオやホームページで告知したところ、DSを手に約100人の親子連れが「やっと」「きたで」と通信での地図取得を喜んだ。ラジオ局を運営するNPO法人の山口誠二さんは「地方での人集めは大変。地域活性化に役立てられる可能性がある」。

滋賀県内の不動産会社は9月の5連休、宅地分譲地の見学会で「すれちがい」イベントを実施。住宅を初めて買う層は、子供の頃にゲームで遊んだ30～40代と重なると見た。千葉県内の書店もブログでDSを持ち寄っての来店を呼びかける。スクエニは「ここまでの広がりは予測しておらず驚き。長く遊んでもらう仕掛けの一つが成功している」（広報）と話している。

ニンテンドーDSの「すれちがい通信」　DSの本体同士が微弱な電波を送受信し通信し合う機能で、無線免許などは不要。ネット接続するためのアイテム。

「朝日新聞」
2009年10月6日（火）より

今回もお察しのように、
社長に内緒です。触らぬ神にたたみなし。
（古すぎる。オヤジギャグすぎる）

まず、言わせていただきたいことがあります。

「もう十月なのですね」

そうです。あの毎週貼っていた『かべ新聞』を貼らなくなって一カ月以上。この前の十三号は八月の発行だったのですね。

その間、いろいろなことがありました。

ある人と、ある人と、ある人が会社を辞め、今週から、ある人は有給消化状態に入り、ある人と、ある人は新しく入ってきてくれ、そして私は外に出る仕事を再び任せていただけるようになりました。

気づけば、もう十月。

ああ、十月。

それはそうと、任天堂さんの「DS」ってゲーム機をご存じですか？

そのゲーム機の仕事のお手伝いを、弊社はさせていただいてたりするのですが、私は知りませんでした。「すれちがい通信」なるものがあることを。

なんですか？この「すれちがい通信」って。朝日新聞さんの上の記事を読むと、ちょっとしたくなるじゃありませんか。

「DS」の機械は持っているのですが、「すれちがい通信」ができる「ドラクエ」のソフトを持っていません。

もし手に入れたら、金曜の夜、「とり天」さんで「すれちがい通信」してくれますか？

印刷も編集も製本も
原稿作成もしています

TAPP
株式会社 タップハウス
大阪市北区浮田2-2-14 辻芳ビル
TEL.06-6375-2151 FAX.06-6375-2295

このビルの
右端の階段から3階へ